KIRIN

よろこびが
つなぐ世界へ

Joy brings us together

なにげない感動をずっと。

FANCL

抗老化素材の開発（麹・キンミズヒキ）

KIRIN R&D DAY 2025
キリンホールディングス株式会社　ヘルスサイエンス研究所

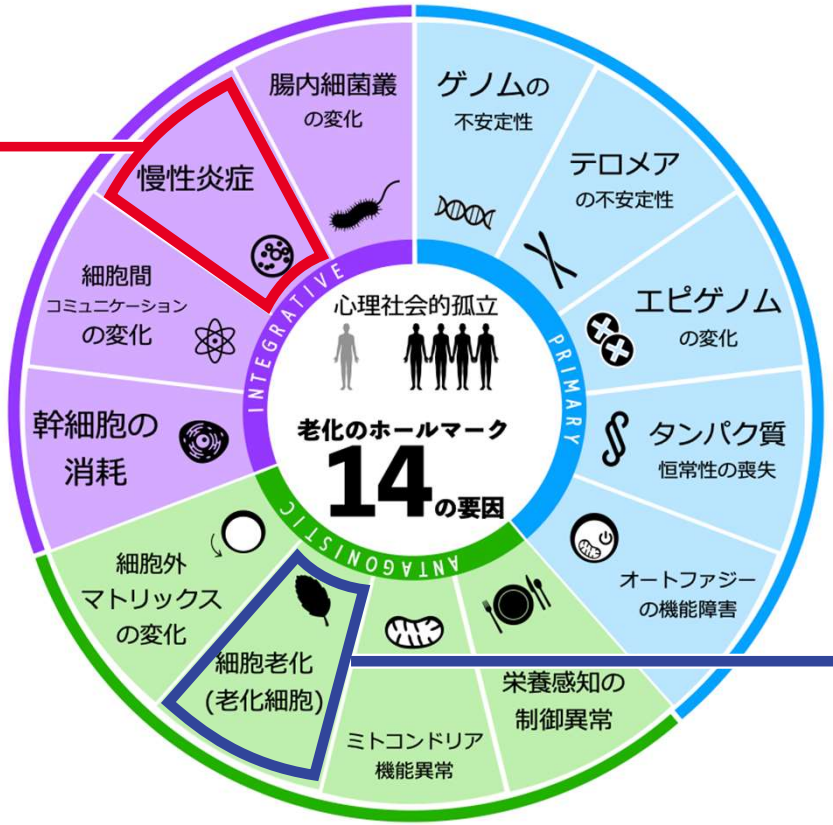
杉原　圭彦

KIRIN R&D DAY 2025
株式会社ファンケル　機能性食品研究所

林田　真理子

ファンケルとキリンの抗老化研究

KIRIN
麹ステロール



FANCL
キンミズヒキ

それぞれのアプローチで素材を発見

キンミズヒキとの出会いから研究方針の転換へ

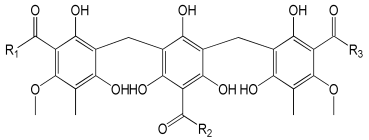
なにげない感動をずっと。
FANCL

認知機能をはじめとする、記憶力に関する研究を進めていたところ、**キンミズヒキ**に活性を発見

脳機能に関する成分の選定実験
約4000種類

キンミズヒキの神経活性化を評価

活性成分の同定



多岐に渡る抗老化作用確認

老化細胞減少作用
細胞試験で確認

キンミズヒキ摂取による
活気活力の維持機能確認

老化細胞のヒトでの
評価法確立

2015年 ・ ・ ・ ・ 2020年 ・ ・ ・ ・ ・ 2025年 ・ ・

老化研究は世界的活況
研究費も右肩上がり
高齢化は今後も確実に進む
社会貢献性も高い

老化抑制による**寿命延長**の**経済効果**
約4,180兆円/年※
Nat Aging. 2021 Jul;1(7):616-623. ※論文発表当時の為替レート換算

XPRIZE Healthspan 開始
(健康寿命の延伸を目指す世界的なコンペティション)

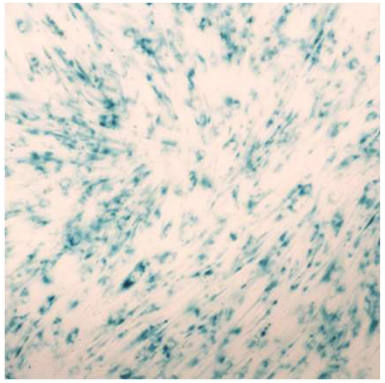
© FANCL CORPORATION All Rights Reserved

キンミズヒキ抽出物が“老化細胞”を減少させることを発見

なにげない感動をずっと。
FANCL

キンミズヒキ抽出物の添加により、老化細胞（青色染色箇所）が減少

コントロール

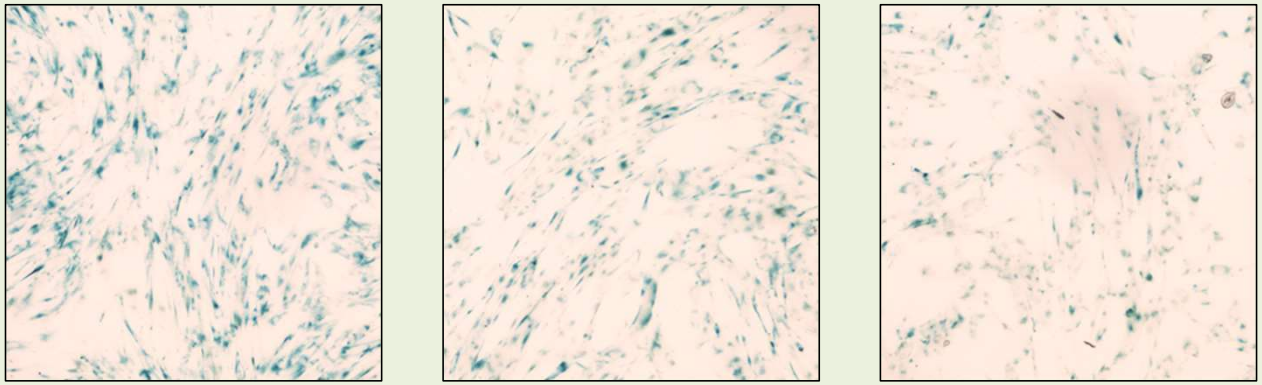


老化細胞
(青い染色箇所)

キンミズヒキ
抽出物を加える

キンミズヒキ抽出物

少ない　多い



多い　少ない

老化細胞

© FANCL CORPORATION All Rights Reserved

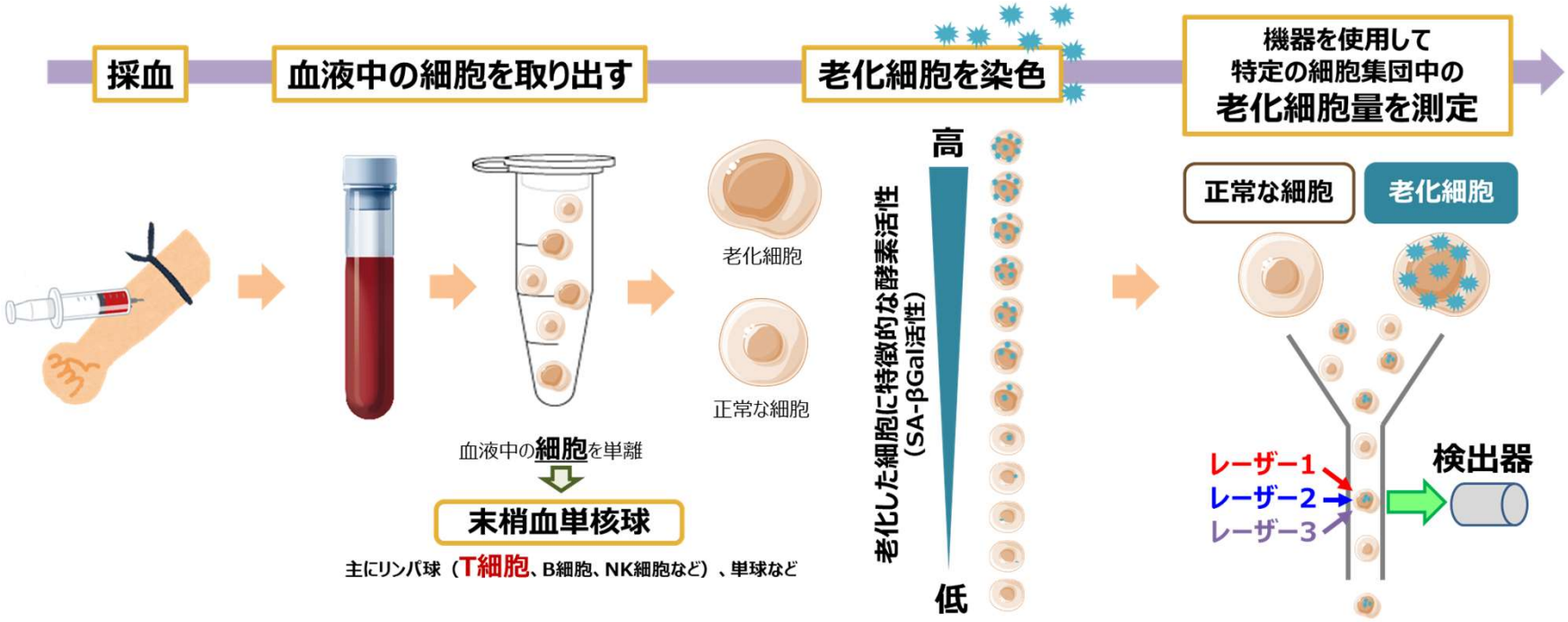
事業化に不可欠なヒトでの検証

なにげない感動をずっと。
FANCL

ヒトの老化細胞を測定する技術の概要

課題点：ヒトの老化細胞量を低侵襲かつ短期で多検体の定量した例がない

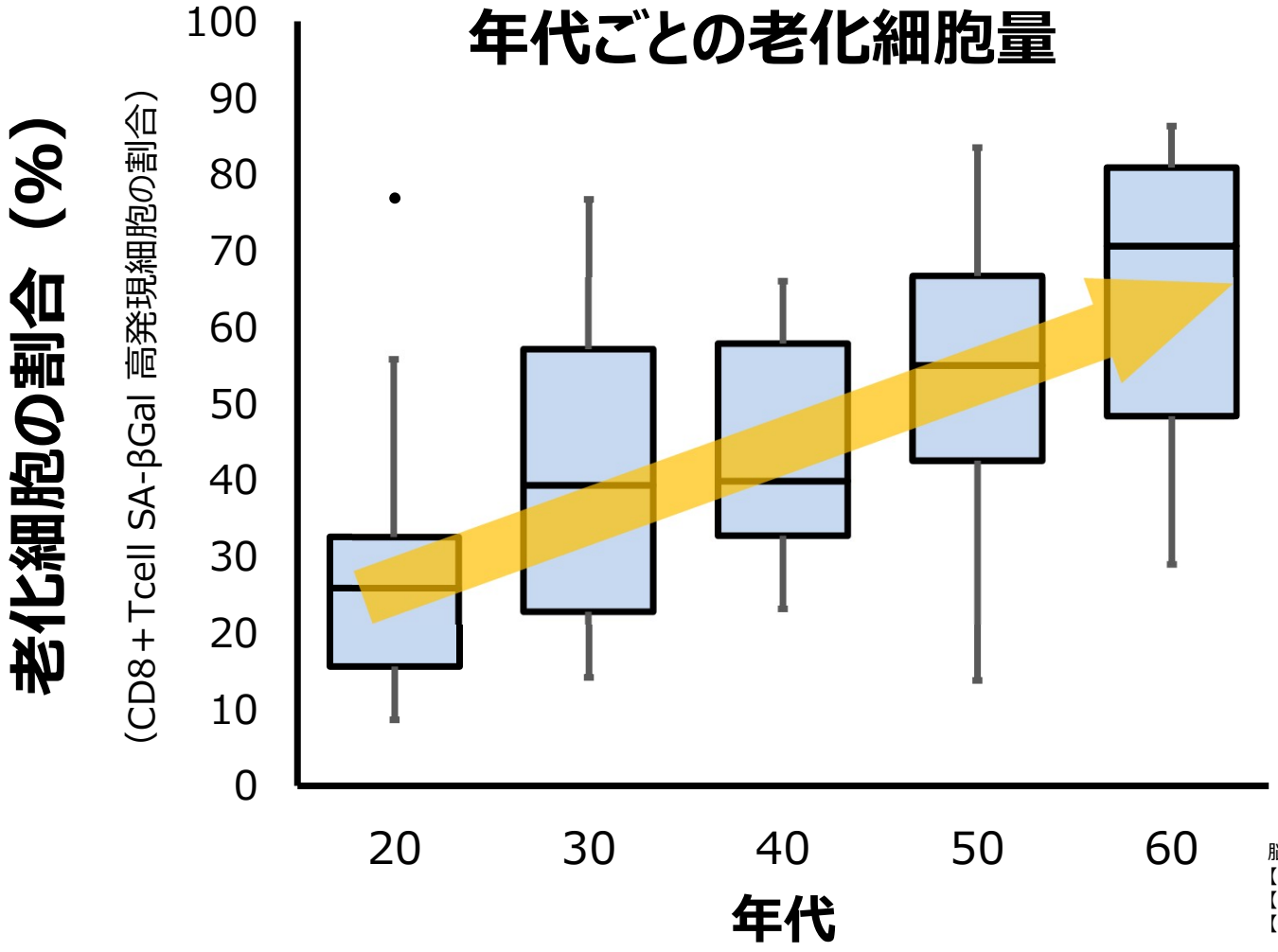
➡低侵襲で採取できる血液細胞を用いて老化細胞を定量



© FANCL CORPORATION All Rights Reserved

初めて日本人の年代ごとの老化細胞量の測定に成功

なにげない感動をずっと。
FANCL



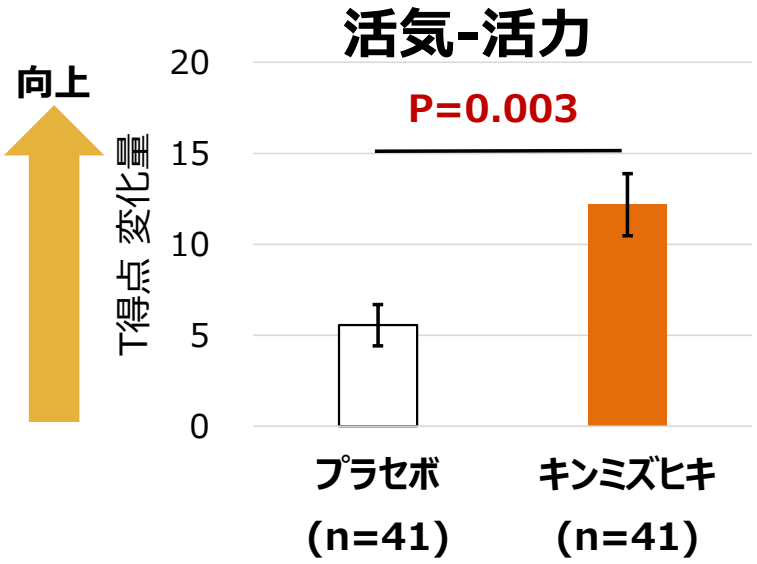
脳心血管抗加齢研究会第20回学術大会 発表資料より.
【試験デザイン】断面研究
【対象者】20歳以上70歳未満の男女107名（女性55名、男性52名）
【観察項目】末梢血単核細胞中のT細胞のSA-βGal高発現細胞の割合

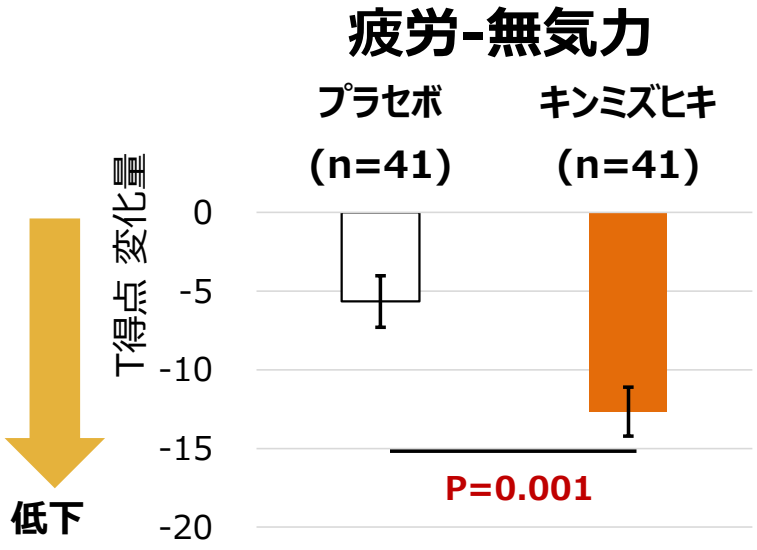
© FANCL CORPORATION All Rights Reserved

キンミズヒキ抽出物による活気活力維持機能（ヒト試験）

なにげない感動をずっと。
FANCL

試験デザイン	ランダム化プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験
対象者	・40歳以上60歳未満の健常な成人男女　84名 ・POMS2 成人用短縮版のVA（活気–活力）のT 得点が50 点以下かつ，FI（疲労–無気力）のT 得点が50 点以上の者
試験食品	キンミズヒキ抽出物 50 mg/日（Agrimol類3成分として0.2mg/日）または　プラセボ
介入期間	12週間
評価項目	主要アウトカム：POMS2　副次アウトカム：SF-36v2下位尺度、やる気スコア、抗加齢QOL共通問診票、SCD-Q





平均値±標準偏差、共分散分析

薬理と治療.2024;52(7):775-789.

© FANCL CORPORATION All Rights Reserved